



環境大臣は、蘇我火力に再考を促す意見書提出

2017年3月、山本公一前環境大臣は地球温暖化の懸念を事由に、蘇我火力発電所計画に対し再考を促す意見書を公表しています。



環境大臣は、石炭火力に否定的な考え「新增設は認められない」

2017年8月3日に就任した中川雅治新環境大臣は、記者会見やメディアのインタビューで、世界は脱石炭に向かっていくという認識を示し、石炭火力発電にはCO₂の問題があり、温暖化対策に逆行するとして「経済性の観点のみで新增設は認められない」と答えています。



市原の石炭火力発電所計画は中止に！

東京湾内では、2012年以降、蘇我の1基以外にも、袖ヶ浦2基、市原1基、横須賀2基、の計6基もの石炭火力発電所建設計画が起こりました。そのうち**市原での計画は2017年3月に中止**となりました。市原の計画は、2015年8月に環境大臣から「是認できない」と指摘されていたもので、その後、事業者である東燃ゼネラルと関西電力が中止にすると判断しました。

蘇我火力発電所の計画に対して、あなたにもできることがあります！！

2017年秋以降には環境アセスメント方法書の手続きで、事業者の説明会や意見募集が行われる可能性があります。市民から事業者に公式に声を届ける機会です。

1. 事業者が開催する説明会に参加してみませんか？

説明会の日程が決まったら公報などでお知らせがあります。参加者が少ないと関心が低いと思われ、市民の声が軽視されてしまいます。ぜひ説明会に出かけて質問を投げかけてみましょう。



2. 環境アセスメントの意見書を提出してみませんか？

計画に対し、誰でも書面で意見を提出することが可能です。意見の数や内容は記録として残され、事業者もそれに答えなければなりません。今後、意見募集が始まったらぜひ意見を出しましょう。

3. 周りの方にもこの問題を伝えていきましょう！

この計画は、千葉市をはじめ周辺自治体など影響を受ける近隣の人たちにまだまだ知られていません。ぜひ一人でも多くの方にこの問題を伝えてください。

千葉パワー株式会社 <http://www.chiba-power.co.jp>

蘇我石炭火力発電所計画を考える会とは・・・

2017年4月11日に発足した、蘇我で石炭火力発電所が建設される問題について考える市民団体です。（仮称）蘇我火力発電所建設計画については、市民の健康被害、地球温暖化への悪影響などを心配し、2017年春から市民を対象とした勉強会を行い、また千葉市中央区を中心に1万枚のチラシ（アンケートつき）調査を実施、331人から回答があり、295人が反対との意見でした。空気の汚れが気になっていることや石炭火力発電所建設計画に不満を抱いている現状を把握、それを踏まえて環境省や千葉県知事、千葉市長、事業者への申入れを行っています。アンケート結果や活動の内容は<http://nocoal-tokyobay.net/tag/chiba/> でご覧いただけます。

連絡先：蘇我石炭火力発電所計画を考える会 事務局 090-7941-7655 担当：小西・佐藤・森口
協力：石炭火力を考える東京湾の会（URL：<http://nocoal-tokyobay.net/>）
Don't Go Back To The 石炭（URL：<http://sekitan.jp/>）
気候ネットワーク（URL：<http://www.kiconet.org/>）

（2017年10月1日版）

石炭火力発電

蘇我に 本当に必要？

蘇我スポーツ公園の真横で石炭火力発電所計画があります。
このままでは計画がどんどん進んでしまうかもしれません。
私たちの声をもっと事業者に届けましょう！

蘇我の火力発電所建設計画ってどんな計画なの？

千葉市中央区で計画されている「(仮称) 蘇我火力発電所」は、中国電力(株)と JFE スチール(株)が共同出資して設立した千葉パワー(株)が、JFE スチール東日本製鉄所(千葉地区) 工場跡地に、設備容量 107 万 kW の石炭火力発電設備を建設するものです。

現在、環境影響評価法等に基づく環境アセスメントの手続きが進められていますが、現状でも近隣住民は JFE スチール東日本製鉄所起因と考えられる大気汚染に悩まされており、汚染物質の排出がさらに増えることに強い懸念を示しています。また建設予定地は千葉市が蘇我エコロジープークとして環境産業の創出をめざしてきた地域です。石炭火力発電には非常に大きな問題があるため、今世界的には「石炭火力発電所」は廃止の方向で動いており、市の計画にも、世界的な時代の流れにも逆行した計画と言えます。

(仮称) 蘇我火力発電所 計画概要

事業社名	千葉パワー株式会社
出資者	中国電力(株)、JFE スチール(株)
住所	千葉県千葉市中央区川崎町 1 番地
設備容量	107 万 kW
燃料	石炭+副生ガス
運転開始(予定)	2024 年
CO ₂ 排出量	642 万トン -CO ₂ / 年 *推計
SO _x 排出濃度	20ppm
NO _x 排出濃度	20ppm
ばい塵濃度	5mg/m ³ N

問題 1 近隣住民の健康被害

光化学オキシダントは現状でも環境基準を全く満たしておらず、さらに大気汚染が進めば、健康被害が顕在化します。

問題 2 気候変動の加速

石炭火力は化石燃料の中でも一番多くの CO₂ を排出し、その排出量は LNG の約 2 倍。気候変動を加速させてしまいます。

問題 3 公害問題再燃の可能性

建設予定地は川崎製鉄所(当時)との公害訴訟を経て環境が改善されてきた地域。複合汚染による悪化が懸念されます。

Q 排出される大気汚染物質は、どれだけ増えるの？

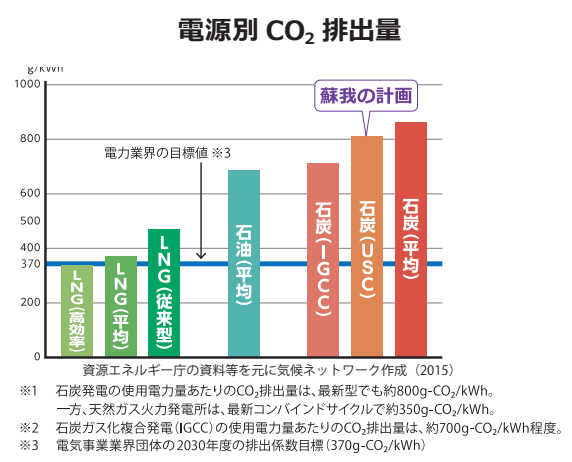
A SO_x(硫黄酸化物) や水銀等が確実に増えます。

石炭火力発電所からは LNG 火力では排出されない SO_x や水銀が排出されます。SO_x は呼吸機能に影響を及ぼし、眼の粘膜に刺激を与えるほか、酸性雨の原因物質の一つでもあります。また石炭は、他に、より多くの NO_x (窒素酸化物)、ばい塵、PM2.5 等を排出します。
さらに石炭火力発電所からだけではなく、燃料である石炭や燃焼後の石炭灰の搬入出を行う船舶の係留は蘇我スポーツ公園に近く、搬入出作業時の汚染物質の影響も心配されます。

Q 石炭火力発電は本当に気候変動を加速させてしまうの？

A 加速します。

蘇我で計画されている発電技術は、「超々臨界圧(USC)」という技術です。「最新型高効率発電」とされていますが、高効率の LNG 火力発電に比較して約 2 倍の CO₂ を排出します。これは気候変動に取り組む世界的な枠組み「パリ協定」に逆行し、環境大臣も懸念を示しています。(詳細は次ページへ)



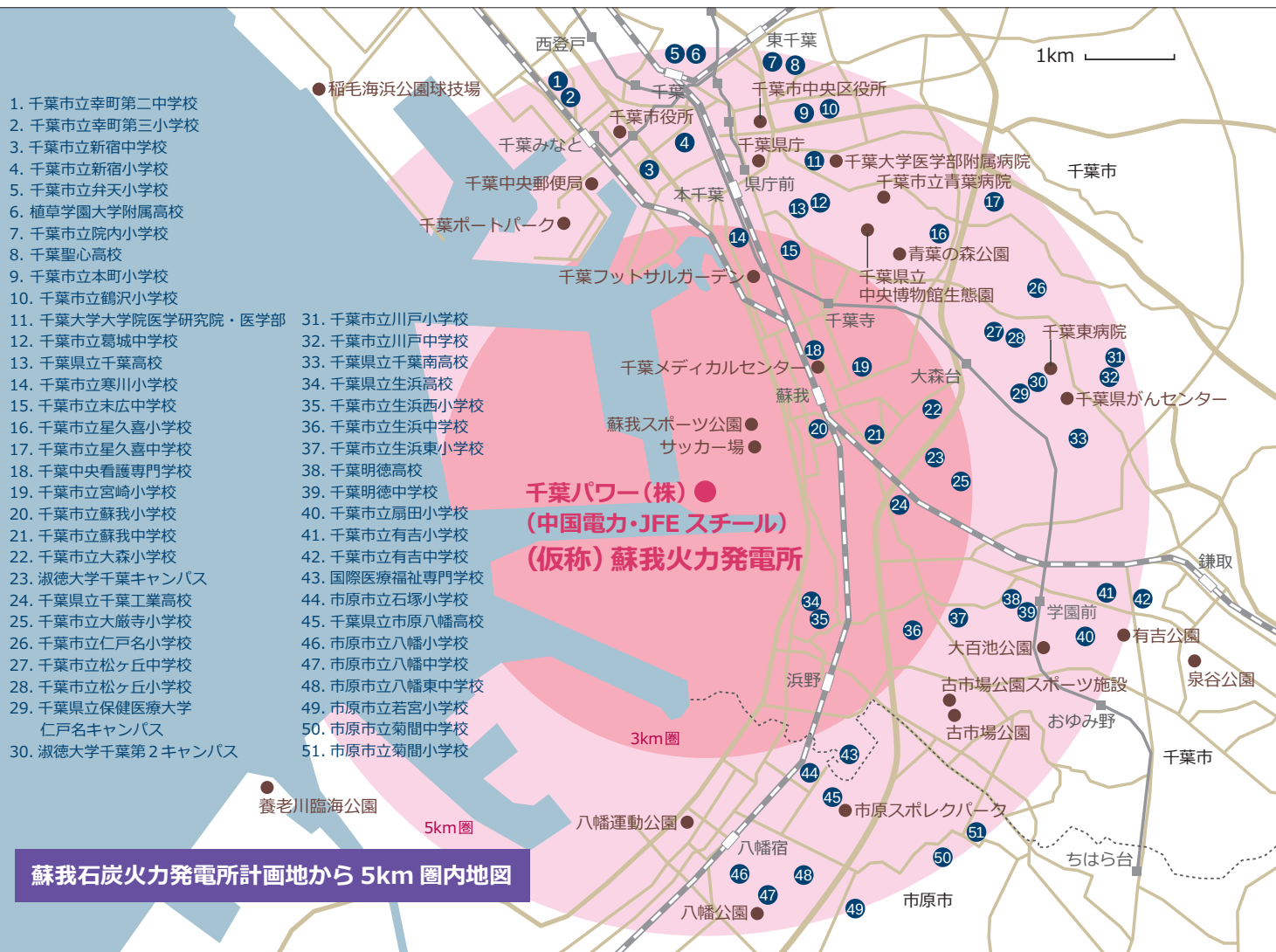
Q 何故、今でも粉じんに苦しむ生活者が多くいる場所に建てるの？

A 単に経済的な理由からです。

2017 年 7 月 2 日に開催された事業者説明会でも、もっと海側への建設の可能性について質問が寄せられましたが、千葉パワーの回答は、「JFE の土地で空いている所はそこしかない」というものでした。また事業目的として、「価格の低廉な石炭を燃料とすることで、競争力のある電力を生み出す」としています。つまり、大規模な商圏である関東に電力を販売するという経済合理性だけを追求した計画なのです。



現在の JFE スチールの原料ヤードの一部。広大な土地に石炭・鉄鉱石・スラグ等が野積み状態で保管されている



蘇我石炭火力発電所計画地から 5km 圏内地図